

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学部	理工学研究科
・ 学科(コース等)	建築学専攻
・ 学年(渡航開始時)	修士1年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
・ 国・地域名	フランス		
・ 都市名	パリ		
・ 留学先大学名	ベルヴィル建築大学		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☒ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2024年9月中旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☒ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☒ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☐ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	もともとフランスの文化、言語、建築に興味がありました。 フランス語は漠然と興味があった上、国連やオリンピックの公用語であり身につけておいて損はないだろうと思い、以前独学で勉強してありました。フランス語に日常的に触れられるという点でフランス語圏への留学を希望していました。 またヨーロッパの建築プロジェクトはリノベーションがメインであったり、新築がメインであったりと地域によって形態が大きく異なります。フランスにおける建築プロジェクトはリノベーションも新築もフランスよく存在しているイメージがあったため、どちらにも興味がある私にとっていい環境だと思い留学を決めました。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☒ 休学をした ☐ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- ・ 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

ベルヴィルのカリキュラムは設計の授業を中心に組まれています。そのためstudio(設計)の授業の単位の配分が非常に大きいです。学生もstudioの授業をメインに学業に取り組んでいます。将来設計に関連する職を考えている人にはいい学校ですが、そうでない人にとっては少し退屈かもしれません。他にはséminaire(ゼミ), théorie(理論), option(芸術や3Dソフトなどの建築以外の授業), histoire(歴史), construction(構造)などがあります。授業は一部のスタジオを除きすべてフランス語で行われます。私は翻訳アプリを使ったり、友人にノートを見せてもらい授業を理解できるようにしていました。留学生は正規学生よりも必要単位数が少ないため、私はstudio, séminaire, histoire, optionを履修していました。

- ・ 授業を履修した場合、具体的な科目の情報を教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Studios Master la villa Arson, une école de danse à Nice	単位数 (現地単位数)	13
科目概要	南仏ニースにあるVilla Arsonを、ダンススクールへとコンバージョンするというテーマの設計の授業です。国立ダンスセンターでのダンスワークショップや、ニースへの調査旅行がありました。設計は3〜4人のグループで行うため自分の意見を言語や模型、パースにして伝える作業が非常に大変でした。またコンバージョンの設計手法について学ぶことができたのは日本ではできない経験でした。ニース旅行ではほとんど毎日作業があったので観光はあまりできませんでした。夜はビーチに行っていました。		
科目名②	Option Observatoire de campagne	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	写真を通して田舎の風景の変容を記録・分析するという授業です。大判カメラやフィルムカメラの使い方を学んだ後、サン・ブノワ・デュ・ソーという農村地域を訪れて写真を撮影しました。旅行では現地に設置した仮設ラボでフィルム現像やデータ化、分析を行いました。鉄道も通っていない田舎で、この機会がなければもう二度と行くことはないだろうと思い履修しました。伝統的な石積みの住宅や街並み、のんびりとした雰囲気が本当に素敵な場所でした。		
科目名③	Histoire des jardins	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	庭園の様式の変遷を学ぶ授業です。中世の修道院からルネサンス、フランス式庭園、イギリス式風景庭園、そして近代の公共公園に至るまで、様々な庭園の歴史的・空間的な特徴を、社会的、政治的文脈と合わせて考察します。ベルサイユ宮殿の庭園など有名な事例も多く登場し、実際に観光で訪れた際に着目する点が変わったように感じます。学期末のテストはスケッチを用いて自分で庭園の特徴を説明するというユニークな形式でした。		
科目名④	Séminaire Patrimoine, projet et tourisme	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	建築遺産をテーマにしたゼミです。歴史的建造物の保存修復、再利用、あるいは歴史地区での新築といったプロジェクトに取り組むために不可欠な、歴史、建築理論、建設技術、法規に関する講義があります。また、1学期に2回ほど論文の進捗を発表するプレゼンをしました。私は芝浦の修論で取り組む予定のバリエにあるCentquatreという建物について取り組んでいました。他の学生の中間発表を聞いていると様々なコンバージョン事例に触れることができる点も面白かったです。		
科目名⑤	Français	単位数 (現地単位数)	1
科目概要	留学生は英語の授業の代わりにフランス語の授業を履修することができます。クラスは初級、中級、上級に分かれています。先生の方針によって内容は様々ですが、前期の初級クラスでは文法と日常会話を重点的に学習していました。後期の中級クラスでは簡単な文章の読解、プレゼンテーションを毎週行なっていました。他の学生は主にヨーロッパから来ているので似た単語をすぐに覚えていましたが、私はついていくのに精一杯でした。ですが留学生という同じ境遇で、クラスの子とはすぐに仲良くなれました。		
科目名⑥	Architectures et urbanismes des espaces coloniaux	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	20世紀にフランスやイタリアが植民地としていたアフリカの国々における建築と都市計画に関する歴史の授業です。現地の伝統的建築がル・コルビュジェら近代建築家に与えた影響や、地域の伝統と合理主義を融合させた独自の近代建築の事例が登場します。植民地が建築の実験場となり、その成果が欧州へ影響を与えた文化の循環についても考え、レポートを書きました。日本にいとアフリカの建築の情報はほとんど入って来ないので、初めて知ることばかりで貴重な授業でした。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

学校には日本人がほとんどいませんでした。英語は元々困難なく話すことができたので留学生とはすぐに打ち解けましたが、フランス語がほとんど初心者状態だったため、フランス人の友達と仲良くなるのは大変でした。渡航前に語学学校などに通っておけばよかったな...と思いました。生活環境としてはヨーロッパの中でも日本人の多い都市なので留学、生活に関する情報が豊富でした。円安の影響もあり物価は日本よりも高いですが、他のヨーロッパの都市と比較すると平均的だと思います。パリには魅力的な場所が沢山ある上、ヨーロッパの真ん中に位置しているため鉄道や飛行機、バスで色々な場所に行けます。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

フランスに留学したという経験は自分にとって間違いなく財産になりました。旅行でも完全移住でもなく一年間という限られた期間パリに住むことで、観光客と住民両方の視点を味わうことができました。観光の面では、週末は美味しいというわさのパン屋さんを巡ってクロワッサンの食べ比べをしたり、好きだったオペラ座やオルセー美術館には何度も足を運びました。色々な建築や場所を訪れたかったので沢山旅行もしました。ニースやリヨンといったフランスの都市の他にも16カ国旅行に行きました。歴史についてはあまり詳しくない方ですが、ここは昔別の国の一部であったとか、第2次世界大戦で街が破壊されたとか、実際に行行って学べる事が多くありました。生活の視点では、フランスの人たちは日本人より大らかで細かいことはあまり気にしません。蚤の市でお皿を買った時は、小銭がなかったらC'est pas grave (大したことじゃない)と値引きしてくれました。街のスーパーではいつもレジの機会が故障していたり、郵便が全然届かなかったり不便なことも色々ありましたがC'est pas graveと大らかな気持ちを持てるようになりました。一年間という短い期間でしたが、少しでもパリに馴染めるように努力できたと思います。日常ではなるべくフランス語を使うようにして、初心者レベルからA1 (簡単な会話ができる)位のレベルになりました。留学前に先輩に「目標が達成できるかどうか心配」と相談したことがありました。その時「目標を達成しようと思うと、そうならなかった時に負担になるから考えない方がいい。それでも何かしら得るものはあるから」とアドバイスをもらいました。実際に帰国した今、得られたのは一緒にフランスで過ごした大切な友達だけでなく、社交性や予想外のアクシデントに臨機応変に対応する力など、期待以上だったと実感しています。文化や生活リズムの違い、言語など小さな苦労は沢山ありますがそれは振り返ると大きな財産になります。今、目標はないけれど留学に興味があるという人はまずはエントリーフォームや説明会などはじめの一歩を踏み出してみてください。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
学校の書類提出はあまり複雑ではありませんでした。申請フォームがすべてフランス語だったので、ベルヴィルから留学に来ている友人に手伝ってもらいました。基本的にメールの返信が遅い上バカンスが多いので、時間に余裕を持って準備を進めましょう。手続きとは関係ありませんが、事前準備としてフランス語のレッスンを受講しておくことを強くおすすめします。授業がすべてフランス語なので、フランス語ができるかできないかで授業の理解度や友人との距離感にかなり差がつくと思います。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
ビザ申請に必要な書類はその年によって変わります。私も留学経験者のブログなど沢山読んで準備しましたが、インターネットの情報を参照するときは何年度の情報が必ず見るようにしましょう。6月～7月はビザ申請繁忙期なので予約が1ヶ月先まで埋まっていることがあります。それを踏まえて早めに大使館の予約を取っておくことをおすすめします。住宅の契約にはビザが必要なので、こちらを優先して進めた方がいいと思います。私が申請した時は住居がまだ決まっていなかったのですが、大使館に行った時にどのように住居を探すかを英語でメールするようにと言われました。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
とにかく家探しが大変でした。大学に寮はなく、家探しも全く手伝ってもらえません。Crousや国際大学都市は競争率が激しいので期待せず、他のアパートにも早めに連絡を取っておきましょう。Visale(保証人がフランスにいない場合の保証人代わりの制度)はなくても賃貸契約できます。芝浦には毎年ベルヴィルから何人も留学生が来ているので、一人で探すのではなくその人たちに手伝ってもらうのが一番いいと思います。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。
(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
学生用アパート
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
自力(ベルヴィルから芝浦に留学に来ていた友人に手伝ってもらいました)
家探しの際はCAF(家賃補助)を申請できるかや、電気代通信費込みかどうか(私のアパートはついていなかった)ので自力で契約する必要がありました)、駅周辺の治安をGoogle Mapなどで確認しておくと思います。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
友人の両親の車(電車だと1時間強。パリのメトロはエレベーターがないのでタクシーがおすすめ)
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
徒歩(夜遅い時間はメトロ)
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
20m² 家賃750€ Jourdain駅(Bellevilleから2駅)から徒歩5分
学生アパートの中では広い方だと思います。学校から徒歩圏内だったのは非常に便利でした。19区の中ではかなり治安のいい地域でした。冬場はヒーター1台でかなり寒かったですが、全体的には満足です。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	Mutuelle (補完保険) 加入が学校で義務付けられています(下記)
往復航空券代(往復)	¥300,000	7月帰国の場合。時期をずらせばもう少し安くなる
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥190,000	フランス社会保険(無料) + Mutuelleで医療費は全額返金されるので正直必要ない
その他費用(ビザ申請等)	¥25,000	ビザ申請料¥16,500+ビザ有効化€50
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥83,000	Mutuelle€50+住宅保険€74+Navigo(交通バス1年定期) €392
計	¥598,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥135,000	家賃€750 + 電気代・インターネット代€100。CAF(住宅支援制度)後は€615
食費/月	¥20,000	かなり節約していたので、通常だと€180くらい
その他/月	¥13,000	洗濯€12 + 携帯電話料金€10 + 生活用品€30 + 交際費€30
計	¥168,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

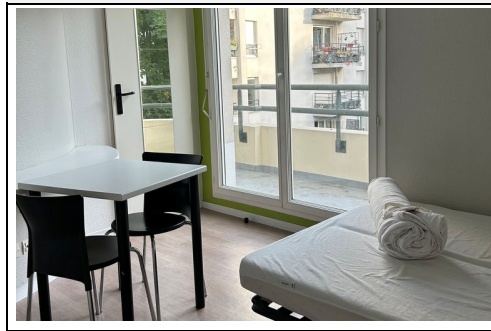
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

学校は芝浦の豊洲キャンパスと比べてもかなり小さく、アットホームな雰囲気です。ランチの時間になるとみんな中庭に集まります。ここに行くとき必ず誰かに会うような場所です。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

19区の静かな住宅街にあります。中庭に面していたのでよく鳥が来て鳴いていました。近所の道路では時々フリーマーケットが開催されていました。

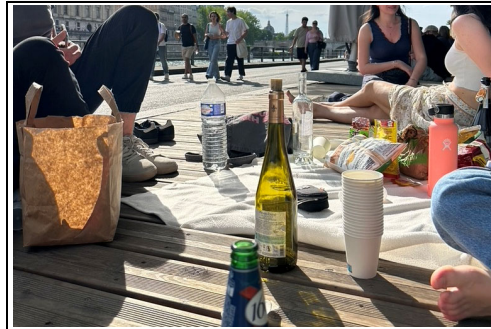
その他、任意の写真



説明文

エスキスの様子。コンクリートで模型を作ってくる人や写真をモビールのようにつぶら下げた作品を持ってくる人がいました。エンジニアというよりアーティスティックです。

その他、任意の写真



説明文

友人たちとセーヌ川でアペロ（バゲットやおつまみを持ち寄って飲むこと）を何度もやりました。フランスっぽいなと思ういい思い出です。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。